



シリーズ  
しあわせ  
実感  
まちづくり  
あなたが主役、私も主役  
地域から始まるまちづくり  
しあわせ 優都 あらお  
第 12 回

1\_500 mほど先の漁場へ向かう参加者の列。  
2\_マジックが筆を押し上げるのを静かに待ちます。3~5\_マジック釣りに参加した皆さん。泥だらけになりながらも、真剣にマジックと格闘し、楽しんでいました。



Event  
Photo  
Report 01



第 10 回  
荒尾マジック釣り大会

**第 10 回**荒尾マジック釣り大会は、7月20日(土)、荒尾漁協前の干潟で開催されました。市外の福岡県や長崎県などからも多くの参加があり、九百人ほどがマジック釣りを楽しみました。  
マジックは干潟に作った巣穴に異物が入ると、はさみのついた前足で押し出す習性があります。その習性を利用して、干潟に「釜たて」と呼ばれるくぼみを掘り、巣穴に毛筆を差し込んで、筆を押し上げてきたマジックを引き上げます。  
当日は、日差しが強く照り返す干潟の中で、大人も子どもも泥にまみれ、マジックと真剣勝負を繰り広げました。また、台湾の政府関係者40人ほどが飛び入り参加し、初めてのマジック釣りを満喫しました。



6\_市マスコットキャラクター マジャッキーも遊びにきました! 7\_マジックを帽子にのせ、「マジック帽子だよ!」とウインクしてくれました。



8\_干潟で水遊びに熱中する子どもたち。9\_揚げたてのマジックの天ぷら試食会も行われました。



さまざまな世代で交流を

清里地区協議会会長 西島美明さん

清里地区は、幅広い世代で地区行事への参加率が高く、スポーツが盛んです。こととして51回目を迎えた地区の体育大会は、行政区ごとのチーム対抗戦で行われ、三百人ほどが参加しました。清里は行政区のまとまりが強く、選手に地域住民が熱い声援を送るなど、地区活動を通して、さまざまな世代の交流が行われています。また、たこ掘り大会や保育園児へのカブトムシの配付など、地区独自の活動も行っていて、世代を超えた交流へとつながっています。今後は、協議会の未来を託せる若い人材の育成に力を入れたいため、若い人には積極的に協議会に携わってほしいですね。  
世代を超えた交流の先に地域の発展があるので、よりよい地区になるよう努めていきます。

⑪清里地区の取り組み

清里地区協議会

(会長 西島美明・環境部部长 東田専一)

清里地区協議会は、連携と協調を図り、良好な地域社会を維持・形成するため、協力した地域づくりを行うことを目的に活動しています。

地域の活性化や課題解決に取り組んできた「清里元気づくり会」が発展的に解消し、今年度から地区協議会と統合し、環境、ふれあい、健康の3部会で活動しています。



にしじま・よしあき 昭和11年生まれ、牛水上在住。荒尾干潟保全・賢明活用協議会委員。趣味は30年間続けているボーリングで、最高スコアはパーフェクトの300点!

清里地区協議会環境部部长 東田専一さん

心の温かさを感じられる仲間づくりを

環境部会では、通学路の清掃活動を行っています。清里地区は山・海・川などの自然に恵まれており、住民の環境美化への意識も高く、毎回多くの住民が清掃活動に参加します。将来的には、月に1回、住民自身の家の周りを10分ほど清掃する日を設けることで、通学路だけではなく、地区全体をより美しくすることができたらと思います。  
また、今年度から体を動かし、収穫の喜びを味わってもらおうと、高齢者を中心に野菜づくりを始めます。収穫した野菜は自分たちで食べて楽しみますが、たくさん収穫できたときは販売し、売上を協議会の活動に生かしたいと考えています。  
地区活動が、互いの心の温かさを感じられる仲間づくりに繋がれば嬉しいです。



ひがしだ・せんいち 昭和12年生まれ、小野在住。清里元気づくり会会長を経て、今年度から清里地区協議会環境部部长。趣味は野菜づくり。夏はナスビなどを作るそうです。



1\_清里地区を代表する一大イベントである「体育大会」。毎年、子どもから高齢者までの幅広い世代が参加します。2\_地域の魅力を多くの人に伝えたいと始まった「たこ掘り大会」。地元で昔から行われてきたたこ掘り漁を体験できます。3\_恵まれた自然環境を生かし、「小さな虫から大きな夢を抱いてほしい」という願いを込めて、地域の保育園児へふれあい部会がふ化させたカブトムシをプレゼントしています。